

窓空宛名

過誤納番号

還付充当通知書

年 月 日

〇〇市長

〇〇 〇〇



(お問い合わせ先)

〒000-0000

〇〇市1丁目2番3号

国保課

電話 000-000-0000

内線 11223

徴収金納付については、平素から格別の御協力をいただき厚くお礼申し上げます。

1 次の金額をお返し致しますので、お知らせします。

2 還付加算金は、雑収入（雑所得）として課税等の対象となりますので、注意してください。

3 この通知について不服のあるときは、この通知を受けた日の翌日から起算して3か月以内に市長に対して審査請求をすることができます。この決定の取消しを求める訴え(処分の取消しの訴え)は、前記の審査請求に係る裁決の送達を受けた日の翌日から起算して6か月以内に市を被告として（市長が被告の代表者となります。）提起することができます。

なお、処分の取消しの訴えは、前記の審査請求に対する裁決を経た後でなければ提起することができないとされていますが、

① 審査請求があった日から3か月を経過しても裁決がないとき、

② 処分、処分の執行又は手続きの続行により生ずる著しい損害を避けるため緊急の必要があるとき、

③ その他裁決を経ないことにつき正当な理由があるとき、

は裁決を経ないでも処分の取消しの訴えを提起することができます。

4 還付加算金の算出方法（還付加算金の記載がある場合に限る。）

還付加算金は、加算日数に基礎金額（その額に1,000円未満の端数があるとき又はその全額が2,000円未満であるときは、その端数金額又はその金額を切り捨てた額）に年7.3%の割合（当該期間の属する各年の特例基準割合が年7.3%の割合に満たないときは、当該割合を平成12年1月1日以後の期間について適用する。）を乗じて計算した金額（ただし、その金額に100円未満の端数があるとき又はその金額が1,000円未満であるときは、その端数金額又はその全額を切り捨てた額）です。

お返しする金額 (③－④＋⑤)		科 目	賦課年度		通知書番号		納めすぎた理由	
			対象年度				理由日付	
金融機関名								
預金種別		口座番号						
口座名義人				支払予定日				

(単位：円)

① 納付した金額						② 正しい金額			③ 過誤納額（①－②）		
期月	収納日	領収日	調定額	督促料	延滞金	調定額	督促料	延滞金	調定額	督促料	延滞金
		合 計									

(単位：円)

④ 充当額 （過誤納額を未納額に充当した金額）									
賦課	対象	科目	通知書番号	期月	被保険者番号	調定額	督促料	延滞金	充当日
					合 計				

(単位：円)

⑤ 還付加算金